

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

御言葉	1コリント 15:54-58
賛美	イエスは勝利をとられた(PPT 23)
使徒信条	会衆一同
交誦文	27
賛美	主はぶどうの木(PPT 14)
メッセージ	約束の地に入れる者 (民数記 13 章)
御言葉を適用する祈り	会衆一同
主の祈り	会衆一同
Ⅱコリント13:11-13	パスター
報告	

震災にある日本のための祈り

今、実際的な助けを必要としている人達に、一刻も早く助けが備えられるように。上に立てられている権威に良き知恵が与えられ、正しい判断によって混乱なく指示を出しますように。

今、被災地で救助活動しておられる働き人達の手が守られ、滞りなく進められますように。分子の陽子・電子・中性子に至るまで、全宇宙の運行を全て支配し管理しておられる主・イエスの名によって、原発や地下プレートが、この国の人々に害する事を禁じます。

今、人を脅かしているあらゆる自然の活動に対し、地の深みから山々の頂に至る全地を統べ治めておられる主イエスの名によって、これ以上この国に害を及ぼす事を、禁じます。人々を害す邪悪な人的・霊的な存在には、自ら掘った墓穴に入るよう呪います。

陽子・電子・中性子から全宇宙の運行に至るまで、全て支配し管理しておられる、主イエスの名によって、日本を祝福します。アーメン。

聖書クイズ(今日のメッセージから答えて下さい)

- 問1: モーセに良いと見られた進言は、なぜ民にとって悪かったと思いますか？
- 問2: 荒野で屍を晒してしまう兆候には、何がありますか？
- 問3: 恐怖や不信仰といった「死」がはびこる時は、どうするべきですか？
- 問4: 不屈で強い信仰が無くても約束の地に入れる方法は何ですか？
- 問5: 約束の地に入れる者と入れない者の違いは何ですか？

主が私達に用意して下さった約束の良き相続地を、私達を得るための法則は実はシンプルだが、そのシンプルな事を人はいかにかややくしく難しく考えてしまうか。出エジプトの民が約束の地に入れず荒野で40年さ迷う事が決定的となってしまった事件から見てみたい。

「見よ。あなたの神、主は、この地をあなたの手に渡されている。上れ。占領せよ。あなたの父祖の神、主があなたに告げられたとおりに。恐れてはならない。おののいてはならない。」(申命記 1:21)

この言葉の通りそのまま攻め上って行けば、神様が約束された良き地をすぐにでも自分のものとしたはずだったが、民は余計な要望をしてしまい(22節)まず斥候を遣わして探らせて欲しいと、モーセに進言した。モーセにとってその進言は良いと見えた(23節)し、ヨシュアやカレブも行き巡って見た時、こんなにすばらしく良い土地が与えられるのかと心躍ったが、荒野で屍を晒す事になる民には、そうではなかった。彼らは立ちほだかっている城壁や強そうな先住民、それに比べた自分自身を見たのだ。(民数記 13:31)

「そこで我々が見たのは、ネフィリムなのだ。アナク人はネフィリムの出なのだ。我々は、自分がいなごのように小さく見えたし、彼らの目にもそう見えたにちがいない。」(民数記 13:33 新共同訳)

荒野で屍を晒してしまう第一の兆候として、まず、立ちほだかっているものを、過大に大きく見る事だ。ネフィリムとは大昔の名高い英雄たち(創世記 6:4)だが、御言葉によると、ノアの洪水で全滅した筈である。全滅したはずのネフィリムを何故見たというのか？ それは彼らの見たアナク人という背の高い現住民を勝手にネフィリム人とし、民も御言葉や約束ではなく彼らの恐怖の産物「脳内ネフィリム」に感染されたからだ。荒野で屍を晒してしまう二つ目の兆候として、自分を「いなご」のように卑しく見積もる事だ。自分達は神がことさらに目を留め多くの奇跡によって救い出した民、地を相続するという約束が与えられたアブラハムの子孫であるにもかかわらず、自らを「いなご」と呼んでいる。キリストのいのちの代価がつけられた私達をそのように卑下する事は罪である。私達も信仰によるアブラハムの子孫として、約束されたあらゆる良き祝福を信仰をもって受けるべきである。

恐怖や不信仰、御言葉と違う事の流布といった「死」がはびこる時、いのちで飲み込まなくてはならない。「喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。」(ローマ 12:15)とは兄弟愛をもって心から互いに愛し合う勧めであって、不信仰な者と共に信仰を捨てる事でも、臆病者と共に臆病になる事でもない。不信仰や臆病には決して同調してはならず、カレブのように信仰を表明するのである。「私たちはぜひと、上って行って、そこを占領しよう。必ずそれができるから。」(民数記 13:30)

カレブは信仰にしっかりと結び付けられていたから、実にあっさり約束の地を勝ち取った。(ヨシ 14:12-15)

ヨシュアやカレブのように不屈で強い信仰が無くても、約束の地に入る方法はある。それは、彼らのように信仰に結ばれた者に、何も言わずについて行く事である。モーセの後の指導者、ヨシュアについて行った者達の中にも、もしかしたら恐れた者もいたかもしれない。それでも不平を言わず、進言もせず、ただヨシュアの言う通りに為し、ついて行っただけで約束の地を得た。

モーセはヨシュアを斥候に遣わす時、ホセアという名だったのをヨシュアとした。(民数記 13:16)

ホセアの名の意味は「救い」で、ヨシュア(イエシュア:イエス)の名の意味は「主は彼の救い」である。モーセが約束の地カナンを探らせるにあたってそのように名を変えさせたのは、「救い」を得る源は主である事を教えるためであり、現代の私達にも、まことのイエシュア、すなわち信仰の創始者また完成者であるイエスに聞き従い、彼について行くようにと勧めるためだったのではなからうか。

約束の地に入れる者と入れない者の違いは、救いを主に置か、それとも自分に置かかである。その法則を知って、救いを自分には置く事を止め、神に置き、恐れずに前進する皆さんでありますように。イエス様の名前によって祝福します！

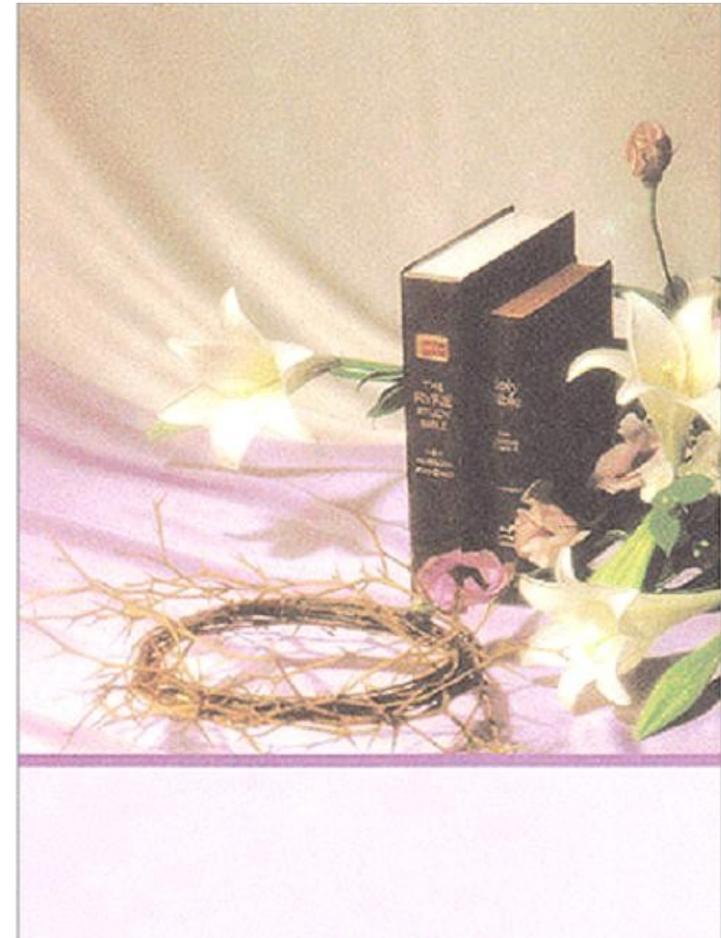
お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第2巻31号

2011年 7月31日

横浜天声キリスト教会

1部礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

1部	10:00
2部(韓国語のみ)	11:00
食事/フェローシップ	12:00～
3部(韓国語 日本語通訳あり)	14:00
聖書勉強会	15:00

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木	夜の祈祷会	21:00～
水曜集会		
1部		13:00～
2部		19:30～
金曜徹夜祈祷会		
		21:00～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番出口より徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト